

がくどう
「**罌堂ブックオブザイヤー2025**」の発表について

一般財団法人尾崎行雄記念財団(所在地:東京都千代田区永田町1丁目8番地1号)は、このたび「罌堂ブックオブザイヤー2025」を下記のとおり選定しましたのでお知らせいたします。
当財団研究員ならびに役員、「罌堂塾」運営委員が中心となって選考に当たり、今年を代表するにふさわしい政治関連等書籍(部門別大賞21席、相馬雪香特別賞4席)が選出されました。

【部門別大賞】(単著／共著順、50音順)

- | | |
|--------|---|
| 総合部門 | ・ 1日1話、読めば心が熱くなる365人の人間学の教科書 他2作 (藤尾秀昭監修、致知出版社) |
| 国政部門 | ・ 「民のかまど」をあたためる 経世済民論 (落合貴之著、あけび書房) ・ 子どもは誰のものか? (嘉田由紀子著、文春新書) ・ 菅義偉 官邸の決断 (菅義偉著、ダイヤモンド社) ・ 「手取りを増やす政治」が日本を変える (玉木雄一郎著、河出書房新社) ・ 18歳になる君へ 政治家という選択 (細野豪志著、徳間書店) ・ 女性議員は「変な女」なのか (辻元清美／野田聖子著、小学館新書) |
| 地方部門 | ・ わたしがいる あなたがいる なんとかなる (奥田知志著、西日本新聞社) ・ 瀬祭 経営は八転び八起き (桜井博志著、西日本出版) |
| 選挙部門 | ・ 法が招いた政治不信 (郷原信郎著、KADOKAWA) ・ 「AI議員」が誕生する日 (高橋茂著、集英社インターナショナル新書) ・ SNS 選挙という罌 (物江潤著、平凡社新書) |
| メディア部門 | ・ 記者は天国に行けない (清武英利著、文藝春秋) ・ 持続可能なメディア (下山進著、朝日新書) ・ エモさと報道 (西田亮介著、ゲンロン) |
| 外交部門 | ・ 日中外交秘録 垂秀夫駐中国大使の闘い (垂秀夫著、文藝春秋) ・ 匿名への情熱—政治と知的世界をつないだブレン楠田實 (和田純著、吉田書店) ・ ウクライナ危機以後:国際社会の選択と日本 (加茂具樹編著、廣瀬陽子、森聡、渡辺将人、鶴岡路人、土屋大洋、藤田元信、古谷知之、神保謙著、東洋経済新報) |
| 安全保障部門 | ・ 自衛隊に告ぐ (香田洋二著、中央公論新社) ・ ウクライナ企業の死闘 (松原実穂子著、産経セレクト新書) ・ CBRNE戦記 平和国家の国民の命は軽い (山口芳裕著、産経新聞出版) |
- 【相馬雪香特別賞】
- ・[戦争犯罪と闘う 国際刑事裁判所は屈しない](#)(赤根智子著、文春新書)
 - ・[紛争下を生きる女の子の物語／気候変動に立ち向かう3人の女の子の物語](#)
(プラン・インターナショナル・ジャパン著、村田順子画、Kawaii-winpress)
 - ・[オマルの日記 ガザの戦火の下で](#)(オマル・ハマド著、最所篤子訳、海と月社)
 - ・[私はリーダーに向いてない:My Leadership Journeys 2021-2025](#)(福岡女子大学編)

以上

<お問い合わせ先>尾崎行雄記念財団事務局 石田・高橋(info@ozakiyukio.jp)ホームページ <https://ozakiyukio.jp/gakudojuku/book2025.html>